



北海道議会議員(札幌市中央区)

藤川まさし

道政・道議会だより 第4号

発行：藤川道政事務所

〒060-0063 札幌市中央区南3条西8丁目7-4 遠藤ビル4階

TEL (011)271-0788 / FAX (011)271-5004 / HP <http://www.fujikawa-masashi.com>

昨年、北海道にとっては、とても嬉しいことと、非常に残念なことがありました。嬉しいことは、プロ野球で日本ハムファイターズが大逆転で、リーグ優勝し、さらに日本一になったこと。コンサドーレ札幌がJ2リーグで優勝し、J1昇格を決めたこと。さらには高校野球選手権大会で北海高校が、準優勝したことです。キーワードは「最後まであき

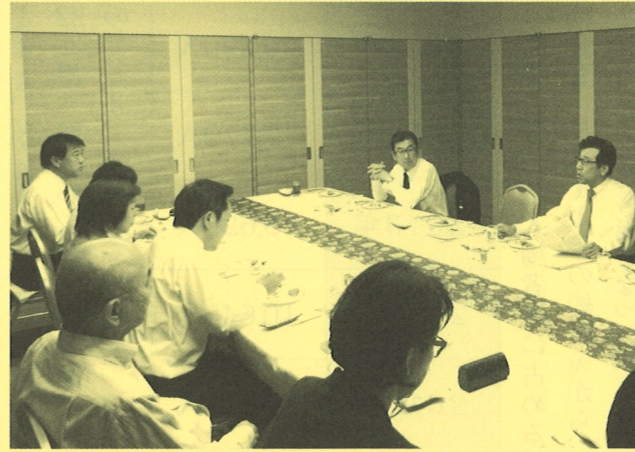


「今年も、北海道をもっと元気に！」

「来年は、北海道にとっては、とても嬉しいことと、非常に残念なことがありました。嬉しいことは、プロ野球で日本ハムファイターズが大逆転で、リーグ優勝し、さらに日本一になったこと。コンサドーレ札幌がJ2リーグで優勝し、J1昇格を決めたこと。さらには高校野球選手権大会で北海高校が、準優勝したことです。キーワードは「最後まであきらめない」ことです。(さらに個人的には応援している鹿島アントラーズが奇跡的な逆転でJ1の年間王者となったこと、そしてクラブW杯で日本勢として初めて決勝に進出し、惜しくも準優勝) 残念なことは、8月に次々と台風が北海道に上陸し大きな災害となったこと。災害復旧事業費は、4定の補正予算で131億円措置されました。対策予算は総額

1,208億円となりました。また、JR北海道が10線区、13路線について「単独では維持困難な線区」と表明し、これは合計1,237キロで、現有鉄道の半分にあたるもので、北海道の公共交通が壊滅的になりかねないとして、地域や道民は深刻に受け止めています。日本の政治に目を向けますと、夏の参議院選挙では、定数3となった北海道で民進党が2議席を確保しましたが、全国的には、民進党に対する支持は広がっていません。世界的には、アメリカのトランプ新大統領誕生でTPPなどの政策がどうなるのか。またお隣の韓国の動揺、ロシア、中国、北朝鮮の動きなど先行きが見えない年になりそうです。逆境を乗り越えて、北海道がもっと元気になるように、北海道から政治を変えていくために、皆さんとともに活動していきます。

秋元札幌市長と札幌選出民進党道議団との政策懇談会



・冬季オリンピックピック・パラリンピック招致について
・札幌駅交流拠点のまちづくりについて
・都心アクセス(創成川通機能強化)の検討状況について
・札幌ドームについて
など札幌市の施策や北海道と札幌市との連携について懇談しました。

原子力防災訓練



原子力防災訓練が2016年11月13日から14日の2日間、泊原発周辺で行われました。私は14日に行われた訓練を視察しました。今回は、全国で初めて津波との複合災害を想定した総合訓練でした。写真は、余市町での訓練の様子。放射能汚染がなにか避難住民をチェックしています。

札幌市民は道民税をいくら払っている？

個人道民税所得割の現年課税分

2013年	591億円
2014年	610億円
2015年	621億円

これが、札幌市民が払っている個人道民税所得割分です。ちなみに、個人住民税は、税率が10%で、道分が4%、市町村分が6%となっています。2018年分から、教職員の給与などが札幌市から支払われることにより、税源が移譲され、道分が2%、札幌市分が8%となります。そうすると、札幌市民が北海道に納める個人道民税は約300億円になります。(2017年分は経過措置があります。)



藤川まさしプロフィール

1956年7月15日苫小牧市に生まれ、すぐ札幌市に転居
札幌市立二条小学校
札幌市立啓明中学校
北海道札幌西高等学校
慶應義塾大学法学部卒業

1980年 札幌市役所採用
2003年 札幌市議会議員当選
2007年 札幌市議会議員
2期目当選
2015年 北海道議会議員に当選

民進党中央区支部代表
民進党北海道第1区総支部幹事長

地域では
●宮の森東1町内会顧問
●ナイアガラマラソンクラブ顧問
●NPO法人
●リトルシニア羊ヶ丘理事長
●公益財団法人
オイスカ北海道支部顧問を務めています。

住まい
札幌市中央区
宮の森3条2丁目3番11号
家族
母、妻、長女、次女、長男

産炭地振興・エネルギー問題調査特別委員会 道外調査

2016年11月15日から18日まで

- ①四国電力(株)西條発電所
(石炭を主とする火力発電、木質バイオマス混焼)
- ②(株)アドバンテック
(釧路管内鶴居村に家畜糞尿を利用したバイオガス発電所建設に着手17年6月完成予定)
- ③松阪木質バイオマス熱利用協同組合
(不要なチップ化された木材を燃焼させ、発生する熱を近隣の工場へ供給)
- ④とよたエコフルタウン
(次世代の環境技術を集約した、低炭素社会の実現に向けた取り組みを紹介している地区)
- ⑤知の拠点あいち
(付加価値の高いものづくりを支援する研究開発拠点)



3定一般質問から

2016年9月26日

主権者教育

昨年7月に行われた参議院選挙から国政選挙において本格的に18歳以上が選挙権を行使できるようにになりました。投票率が発表されましたが、18歳19歳は全体より10ポイント以上低くなっています。

	全国	北海道
全体	54.7%	56.78%
18歳	51.28%	46.78%
19歳	42.3%	40.03%
18・19歳	46.78%	43.38%

このような状況について、道教
育長に質問しました。

質問…道選管と連携して意識の醸

成に取り組んできたと思うが、その効果はどうであったか？

回答…全国と比較して約3ポイント低く、道全体との比較でも約13ポイント低い。生徒が政治参加の重要性や選挙の意義についてより理解を深め、有権者として自らの判断で権利行使ができるよう指導の充実が必要。道立高校においては、国が作成した副教材を活用し、主権者としての自覚を高める学習の実施。選挙管理委員会と協力して、模擬選挙などを行い、生徒からは「身近に感じることができた」「自分も選挙権を大切にしたい」との感想が出されている。引き続き、生徒の政治参加意識を高め、政治的教養を育んでいくため実践的な取り組みの充実を図っていく。

質問…若いうちからの意識の醸成が必要と考えるが、中学生に対する取り組みについて伺う。

回答…中学校では社会科公民的分野において学習することとなっている。模擬選挙、議場において地域課題について首長と質疑を行うなど、創意工夫した学習活動も行

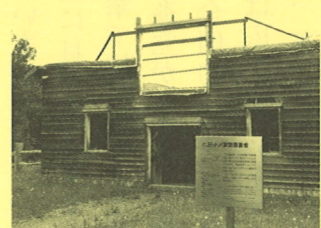
われている。こうした中学校の実践事例を学校教育の手引きに掲載し、指導の充実を図るとともに、国に対し、中学生用の副教材の作成などについて働きかけていく。

4定予算特別委員会

2016年12月8日

北海道開拓の村

旧小川家酪農畜舎が雪による崩落、また吊り橋が通行止めになっているなど各建物



旧小川家酪農畜舎

しており、改修・整備をすべくと何度が議会で取り上げてきました。

4定の補正予算で2億円を超える予算が計上されました。大変喜ばしいことです。

その内容について質問しました。

質問…インバウンド交流施設としての予算計上となっているが、海外からの訪問者の状況は？

回答…全体の入場者数はここ数年12万人前後、2015年は

2011年	6,290人
2012年	7,779人
2013年	9,629人
2014年	10,645人
2015年	11,017人

144、781人と前年度比約22%増。海外からの訪問者は、表のとおり、増加しています。

開拓の村の全入場者数に占める割合も、2011年の約5%から、2016年は約8%となっています。
質問…旧小川家酪農畜舎などは改修でどうなるのか？



回答…旧小川家酪農畜舎は、できるだけ元の部材を活用、内部は、大正後期の牛舎の内部を再現します。またこの牛舎を活用して、酪農の歴史や乳製品などの食の魅力を発信。

更に酪農作業の疑似体験コーナー等について検討しています。明治26年に建築された本格的な茅葺き屋根住宅の「旧菊田家農家住宅」の改修。村内を走る馬車鉄道の延長。英語や中国語など多言語案内板について検討しています。

自治労全国自治研集会

稲嶺名護市長のお話



稲嶺名護市長

仙台市で開催された、第36回地方自治研究全国集会(自治労主催2016年10月14日〜15日)に参加しました。

今回の開催の意義は、「震災を風化させない」ことです。東北大地震から5年経ちました、震災によって「命」そして「生きる」ことの大切さを実感しました。単なる生存するの意味ではなく、人々が「くらし」を支えあい、暮らしの集合体である

「地域」を守っていくことで、絆が生まれていくことを学びました。私は、第2分科会に参加しました、ここでは、稲嶺進名護市長の講演があり、辺野古への米軍基地建設を巡って国と対立している状況や本人の2度の市長選の戦いの経過や現地の政治状況についてお話がありました。

横暴な権力的なものに対し、マインリテイであったも、力も限られていてもどんなに虐げられても非暴力でたたかってきたし、これからも闘っていく。

負けない方法は、勝つまであきらめないことです。あきらめた時が負けなんですと力強く語っておられました。

そして、人の痛みがわかる社会であればいいと願っています。と締めくくりました。

大変感動的なお話でした。

太極拳札幌交流会10周年

2016年11月28日札幌市中央体育館で、太極拳札幌交流会(原田稔会長)の10周年記念交流演武



大会がありました。私は来賓としてお祝いの言葉を述べさせていただきました。

この記念大会に、日本太極拳友会三代正廣会長よりメッセージが寄せられ、そのなかの一節をご紹介します。

年々歳歳花相似たり、歳歳年年人同じからず
一年先を思うものは花を育て、
十年先を思うものは木を育て、
百年先を思うものは人を育てる。
いい言葉ですね。